



# 建交労



2019年11月24日  
 建交労神奈川県南支部  
 2019年秋季年末闘争  
 2019年度推進ニュース③通算162号  
 発行責任者 佐藤 章

## 11.23 争議権利討論集会 110 人参加 水口洋介さん・解雇の金銭解決を許すな！

晩秋の氷雨が降りしきる 11 月 23 日に神奈川労連などで構成する実行委員会主催の“11.23 争議権利討論集”が横浜市従会館で開催され労働組合など多様な分野から 110 人が結集、建交労神奈川県南支部からは清野副委員長と赤羽特別執行委員が参加しました。

集会午前部 (10:00~13:00) では東京法律事務所の水口洋介弁護士 (建交労中央本部の顧問弁護士) を講師に迎え“「無効解雇の金銭救済制度に係る法技術的論点に関する検討会」の問題点と課題”と題した学習会が行われました。



集会での水口洋介弁護士による学習会

水口弁護士は、政府が 2002 年から執拗に成立を画策している“解雇の金銭解決制度”の問題点を歴史的経過もたどって解説、とりわけ 2015 年 6 月 30 日に閣議決定して以降に行われてきた各種検討会における議論の核心に触れその隠された危険性を指摘するとともに、金銭解決を望む労働者には労働審判制度など現行制度の普及・活用を広げることにも課題として提起しました。最後にリストラ自由につながる“解雇の金銭解決制度”を許さないたたかひの強化を呼びかけました。

## 争議勝利・権利確保に向けて分科会で討論！

“討論集会”は、水口弁護士による学習会につづき 4 つのテーマ【①労働争議をいかに闘い、勝利するか、②非正規労働者、権利の前進、③職場で活用できる労働組合のチカラ、④労働審判制度の活用】で分科会が行われ、建交労神奈川県南支部の清野副委員長は“①”の分科会、赤羽特別執行委員は“④”の分科会に参加しました。

“①”の分科会には清野副委員長を含む 22 名が参加、川崎合同法律事務所の藤田温久弁護士によって進行しました。清野副委員長は、県労委でのたたかひを報告し、会社に悪質社労士との関係を断たせる決断をさせる為の有効なとりくみについて参加者に質問。参加者からは「地域や職場でのビラ配布や社長宅へ新年の挨拶に行く」といった意見があり、藤田弁護士からは「考えられる事はすべてやってみる」とのアドバイスがありました。

“④”分科会には労働審判員経験者と現役審判員 (赤羽を含む) を中心に横浜法律事務所の小島周一弁護士と神奈川労連の住谷議長を含む 12 名が参加、労働審判制度の問題点や課題などについて活発な討論が展開されました。赤羽からは、短期間で調停が成立する確率の高い労働審判制度の優位性を評価するとともに制度利用者の人数が頭打ちになりつつあるなかで制度の普及・活用に向けた対策の重要性などについて発言しました。

# 記念講演・わたしは分断を許さない！

～メディアと労働の現場から～元NHK職員堀潤さん

集会午後の部（13:50～16:00）は元NHK職員で現在はフリージャーナリストとして国際的に活動する堀潤さん（右の写真）による記念講演が行われました。



堀さんはNHK“ニュースウォッチ9”の Reporter、“Biz スポワイド”の総合司会、“新世代が解く!ニッポンのジレンマ”のキャスターなどとして活躍し福島第一原発事故の報道では政権や東京電力など体制側にも歯に衣着せぬ鋭い切り口で被災者の視点に立った報道姿勢を貫きました。そうしたなかで2012年にアメリカのカリフォルニア大学に派遣され、2013年に帰国してからは報道担当を外れたことを契機にNHKを退社しています。その後の堀さんは自由な立場で社会の矛盾と正面から向き合うジャーナリストとして活動しながら「分断」された世界——シリア、パレスチナ、朝鮮半島、福島に焦点をあてて5年をかけて完成させたドキュメンタリー映画



“わたしは分断を許さない”を完成させました（映画は来早春から全国で順次上映予定）。また、現在は香港市民による民主化運動の現場を追っており、記念講演を終えると区議会議員選挙が行われている香港へと向かいました（日本時間 23 時に投票締め切られました）。

記念講演終了後は、JAL 不当解雇撤回闘争団をはじめ争議団・組合が紹介され、神奈川県南支部三昭運輸分会の清野分会長（左の写真）も登壇して支援を訴えました。

## 11月28日三昭運輸分会の県労委証人尋問実施！傍聴参加を強めよう！ 2020 春闘アンケート・トラック署名・三昭運輸署名に全力を上げよう！

三昭運輸分会の県労委闘争は、一転して組合側の主尋問のみを行うことになりました。一時は証人尋問を立会団交に変更する方向に動いたために傍聴参加を中止としましたが、一転して証人尋問が再決定したために再度傍聴支援に取り組みます。県南支部の全分会は改めて11月28日（木）13時30分からの傍聴参加者を確保してください。

下表のとおり2020年春闘アンケートとトラック署名が遅れています。各分会は三昭運輸の署名とともに春闘アンケートとトラック署名のとりくみに全力を上げてください。

### 建交労神奈川県南支部 20 春闘アンケート & 署名などの到達点

署名種類	組織名	内外液輸	福岡運輸	田中製菓	イワサワ	中日臨海	高橋運輸	扶桑運輸	三昭運輸	ギオン	東進産業	日酸運輸	三浦観光バス	合同分会	県南支部	地方地域他組織	合計	集計日
三昭運輸分会 団体署名		2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2	1	315	342	10月7日
		2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2	1	327	354	11月22日
三昭運輸分会 個人署名		40	2	5	15	14	7	20	88	10	7			12	208	4178	4606	10月7日
		40	2	5	15	14	7	20	88	10	7			12	208	4303	4731	11月22日
トラック労使署名団体								1		1	1			1		1	5	11月7日
トラック労使署名個人								5		5				15		92	117	11月22日
トラック20春闘アンケート		2	1			1		5	4		7					2	22	11月22日
一般20春闘アンケート				6													6	11月22日